

## 令和6年(2024年)1月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2024年1月 数量 (トン)	2024年1月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価
1	野菜	大根	神奈川県産・千葉県産中心の入荷でした。暖冬のため安定した入荷であったため、数量はやや増加しました。平均単価は低く推移しました。	747	85	104%	80%
2		はくさい	茨城県産中心の入荷でした。暖冬による生育不良により数量は減少しました。平均単価はやや高く推移しました。	677	60	81%	105%
3		きゅうり	宮崎県産・高知県産中心に千葉県産・茨城産を販売。関東産地の減少により、数量は減少しました。平均単価はやや安く推移しました。	195	485	80%	93%
4		ほうれん草	12月下旬に出荷量が増えた分、端境期ができ入荷量はかなり減少しました。平均単価も安く推移しました。	49	514	71%	81%
5		馬鈴薯	鹿児島県産の入荷が天候不良により全体的に数量は減少しました。平均単価はやや安く推移しました。	327	127	85%	97%
6	果実	みかん	全般的にみかん類は小玉傾向で正品化率の低下により、数量はかなり減少し、平均単価はやや高く推移しました。	530	339	75%	110%
7		りんご	夏の猛暑の影響で、着色不良果等が多発したことにより数量はかなり減少し、平均単価はかなり高く推移しました。	188	397	73%	130%
8		いちご	寒気が強かった産地からの出荷量が停滞したことにより、前年と比べると数量はやや減少しました。平均単価は平年並みに推移しました。	115	1,838	91%	102%

## 【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+)0~2%
- ②やや増加(減少):(+)3~10%
- ③増加(減少):(+)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+)51%以上